

メリカ野牛のことである。

かつてアメリカ大陸には、特に大平原を中心に、五千万から六千万頭のバイソンが群れをなしていた。しかし肉が美味で皮も利用価値が高いため、新大陸に白人がやってきてから盛んに捕獲され、一八八五年までにほとんど絶滅してしまった。

カナダでは一八九三年、残った五百頭を保護する法的措置がとられ、一九二〇年代には北西準州とアルバータ州北部にまたがるウッド・バッファロー国立公園もできた。そして平原に住む六千頭のブレーリー・バッファローを米国からこの公園に移し、より大型のウッド（森林）バッファローと交配させた。その結果、現在ではウッド・バッファロー国立公園に約一万四千頭が昔のように群れをなすほどになった。そのほか、エドモントンの東にあるエルク・アイラント国立公園に六百頭、その他の国立公園にわずかづつだが飼われている。

## ジャコウウシ MUSKOK

カナダ北部とグリーンランドを原産地とするジャコウウシ（麝香牛）は、ひづめまでちぢれた長い毛でおおわれ、なかなか愛嬌のある姿をしているが、その歴史は悲惨だ。体重約三百キロというジャコウウシは、古い昔から人間の食糧にされてきた。しかし、十九世紀に北極一帯へやつてきた捕鯨者や毛皮獵師、探検家たちが毛皮や、

自分たちの、あるいは犬の食糧用に乱獲した結果、アラスカでは一八六〇年頃、カナダのハドソン湾南岸では十九世紀末にはほぼ絶滅した。北極点に近いエルズミア島でも、一八八〇年から一九一七年の間に千頭が殺されたという。

そこでカナダ政府は一九一七年、餓死を避けるとき以外の捕殺を禁じ、二六年にはクaine・エリザベス諸島獣保護区を設けて国内のジャコウウシを完全な保護下においていた。その翌年設定されたテロントン・スキモーだけは、一定のジヤコウウシ獣地域に住むエリザベス諸島では、現在も一切捕殺が禁じられている。



（北極の一部  
地域に住むエリザベス諸島では、現在も一切捕殺が禁じられている）

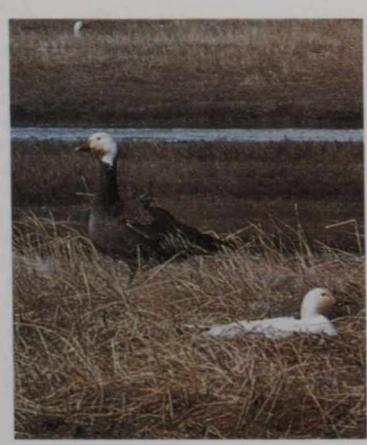
# 野 生 動 物 の 天 国



カナダには28の国立公園がある。その面積は、およそ13万平方キロ。九州を差し引いた日本全体の面積よりやや大きい。そのうち13を選んで、公園に住む動物たちを紹介しよう。

## ヨーホー国立公園

ロッキー山脈のふところに抱かれたヨーホー国立公園では、ヘラジカやオジロジカ、ミュールジカ、ワビチ（鹿の一種）が徘徊し、山壁にはシロイワヤキやナキウサギの姿が見られる。いずれもハイログマ、クズリ、コヨーテ、テンの獲物である。鳥類は数は多くないが、カモ、シジューカラガ、シママヒワ、ゴジュウカラ、アメリカキクイタダキ、タイラントショウ……と種類は豊富。



カナダハクガン

## ジャスパー国立公園

次回のパンフ国立公園とともに世界的有名なこの国立公園では、ハイイログマ、シロイワヤギ、オオツノヒツジ、マーモット、ナキウサギが、ときどきキャンプ場にも現われる。ミュールジカ、ワビチ、ヘラジカ、コヨーテ、テンなども見られ

たこの地域は、滝あり、渓谷あり、けわしい山岳や温泉のある美しい公園である。ここには、ヘラジカ、ビーバー、森林カリブー、ドールシープなどが生息している。

## ナバンニ国立公園

北西準州のサウス・ナバンニ川に沿つ